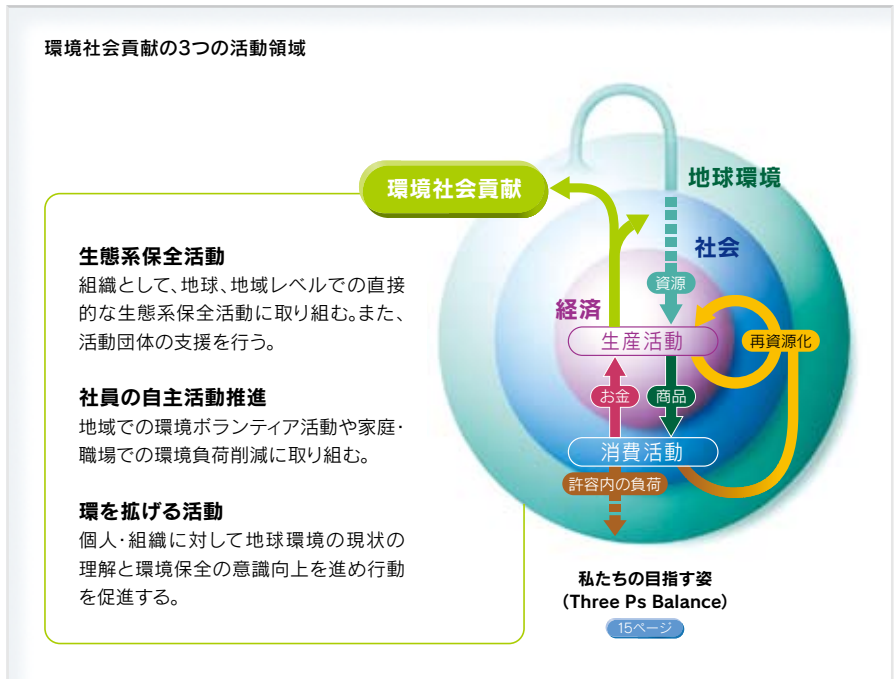


森林生態系保全の環を拡げるとともに、
地球市民としての社員の意識啓発に取り組んでいます。

地球環境を保全するには、環境負荷を削減するだけでなく、地球環境の回復力を維持し、高めていくことも重要です。リコーは、環境NPOや地域住民とのパートナーシップのもとに、世界各地で「森林生態系保全プロジェクト」を展開しています。この活動の環を拡げ、より効果を上げるためには、NPOと企業、またNPO同士の連携が重要であると考え、積極的なコミュニケーションを図っています。*世界各地の生産会社や販売会社でも、NPOやお客様とともに環境社会貢献活動を推進しています。また、日本では「環境ボランティアリーダー養成プログラム」を実施し、社員一人ひとりの地球市民としての意識啓発を推進することにより、社員主体の環境保全活動が地域社会に根づくことを支援しています。 *：13ページ



森林生態系保全プロジェクト

《リコー／グローバル》

地球上には、森林、湖沼、珊瑚礁、海洋など、さまざまな生き物の生息地があり、それぞれに特有の生態系が保たれています。生態系が崩壊すれば、人類の生命維持に必要な自然環境も崩壊します。リコーは、多くの生態系の中でも、特に生物多様性が豊かな「森林生態系」に注目して、1999年度より環境NPOや地域とのパートナーシップのもとに「森林生態系保全プロジェクト」を展開しています。これらの活動は単なる植林とは異なり、土地固有の生物種の生息域や住民生活を守ることを主眼とするもので、環境NPOや地域住民とのパートナーシップを重視して行われています。活動の資金は、継続して社会貢献を行うためにリコーが設けた「社会貢献積立金」から拠出されています。株主総会での承認のもと、毎年の利益から年間配当を差し引いた金額の1%（上限2億円）が積み立てられます。

リコーの森林生態系保全プロジェクト

開始年月	国名	名称／NPOパートナー	活動内容
1999年6月	バングラデシュ	さとやまの復元 ／ポーシュ	子どもの教育と植林・育苗の仕事の提供。
2000年2月	スリランカ	世界遺産地域の森林保全と復元 ／スリランカ野鳥学グループ	スリランカオナガの住める森を残し、拡大する。
2000年3月	フィリピン	熱帯雨林回復* ／コンサベーション・インターナショナル	フィリピンワシに代表される森の生物たちと人が共生していくことのできる豊かな森の回復。
2000年10月	マレーシア	熱帯林・オランウータン生息域回復* ／WWF	オランウータンに代表される、絶滅の危機に瀕している生物の生息空間を拡大。
2001年11月	中国	温帯林・バンドラ生息域回復* ／WWF	バンドラを代表とする437種の脊椎動物や4,000種の植物など貴重な生物のすみかを残し、絶滅種をなくす。
2001年11月	日本	長野黒姫アファンの森保全* ／財団法人C.W. ニコル・アファンの森財団	クマ、ヤマナなど多様な生物が生きていることのできる広さと食べ物があふれ、人も親しむことのできる天然林の維持。
2001年11月	日本	沖縄やんばる森林保全* ／やんばる森のトラスト	ヤンバルクイナに代表される、世界でここにしかなかった貴重な生物のすみかを残す。
2002年3月	ガーナ	熱帯雨林回復* ／コンサベーション・インターナショナル	日陰で育つカカオを利用した持続的森林農業による、人と生物たちが共生できる森の復元。
2004年5月	ロシア	北限のトラ生息域タイガ保全* ／FoE Japan	アムールトラをはじめとするさまざまな生物と人が共生する豊かな森の保全。

* 「社会貢献積立金制度」の対象プロジェクト

TOPIC

熱帯林・オランウータン生息域回復プロジェクト

リコーグループは、オランウータンに代表される貴重な野生動物の生息域であるマレーシア（ボルネオ島）サバ州の熱帯林回復プロジェクトを支援しています。

プロジェクトの背景

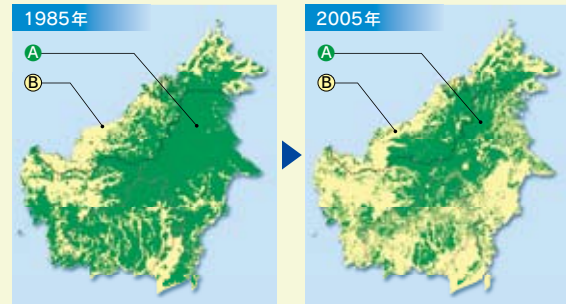
サバ州は、ボルネオ島北東部に位置し、プランテーションの増加により、かつての原生林が激減している地域のひとつです。サバ州最大の河川であるキナバタンガン川の流域には野生動物や原生林の保護区が設けられていますが、これらの保護区さえも違法伐採に侵されて荒地となり、分断されてしまっています。分断された熱帯林ではオランウータンなどの大型の野生動物は生命をつなぐことができず、河川の水質汚染、土壌の劣化も進み、野生動物だけでなく住民の生活にも悪影響が出ています。プロジェクトの狙いは、保護区内で分断された森林をつなぐ回廊を作り、野生動物の生息域を広げることにあります。

プロジェクトの展開とゴール

プロジェクトを真の意味で成功させるには、生態系の回復とともに地域住民の生活の安定が図られなければなりません。具体的な目標は、熱帯林の回復、地域住民による保護区の自立的な保全と、住民の生計を支えるエコツアーの定着です。活動主体であるWWF マレーシアを通して、リコーは継続的な支援を行い、ゴール到達を目指しています。プロジェクトがスタートした2000年10月、ひとつ目のプロジェクトサイト周辺の地域コミュニティに働きかけて参加を呼びかけました。集まった地域住民とともにプロジェクトチー

ボルネオ島の熱帯林変遷図

① 森林部分 ② 非森林部分



資料提供：WWFマレーシア

1970年代、ボルネオ島の熱帯林は、島の面積の約86%。アブラヤシのプランテーションの拡大などで現在は50%以下とも言われている。

ムを結成してテスト植林を行いながら、植林の有効性調査をはじめ、並行してエコツアーの企画を進めました。活動の最大の問題は、植林エリアが河川の氾濫により水に浸かりやすく、植林した苗木の生存率が低いことです。これに対しては、植林に適した種類の選別、草刈などの植林ノウハウの改善と蓄積を行い、現地の土壌により適した植林方法の開発を進めてきました。2005年度からは二つ目のサイトに活動を移し、これまでに蓄積してきたノウハウをいかながら植林を行い、熱帯林の回復を進めています。

2006年度の活動

2006年度は、植林作業と苗木のモニタリング調査、地域におけるオランウータン生息域の環境調査や森林再生調査についての学習などを行いました。プロジェクトを進めてきた結果、熱帯林の回復は少しずつ成果が表れはじめています。また、地域住民の保全意識が高まったことで違法伐採への監視の目が厳しくなり、住民同士のコミュニケーションも進んできています。エコツアーについては、今後行政と連携しながら事業化を進め、地域住民の生活安定を図っていく予定です。

リコーの支援を受け苗木の生存率が低い氾濫原での植林活動を進めています。

リコーに支援いただいている事業は、通称「キナバタンガン川・生命の回廊」と呼ばれている重要な保全プログラムの一部で、ボルネオ島の中央に位置する山脈地域と、世界でも最も生物多様性に富んだ海洋のひとつであるスルー・スラウェシ海を結ぶ「生命の回廊」をつくるというプログラムの重要な部分を構成しています。また、この生命の回廊プログラムは、多大な開発の圧力下でありながら熱帯林を残す氾濫原であるため、世界的にも優れた持続可能な開発のためのモデルになると予想されています。リコーの支援により、湿地帯や氾濫地帯などの困難な場所でも森林再生が可能であることを地域住民に示すことができました。ここで得た植林ノウハウは他のさまざまな地域に活かすことができるでしょう。WWFでは現在、キナバタンガン全域で熱帯林回復の優先区域を特定した2020年までの長期戦略を立案しています。今後、これまでの知識と地理情報システム(GIS)や衛星画像などの最新技術を駆使して活動します。これらのテクノロジーで、既存の森林の状態、オランウータンの分布、ボルネオピグミー象の行動パターン、土壌の種類、更には氾濫パターンに関する情報を組み合わせることができそうです。我々はリコーとの良いパートナーシップを楽しみました。そして、これからもリコーが「生命の回廊」というビジョンのパートナーであり続けることを望んでいます。



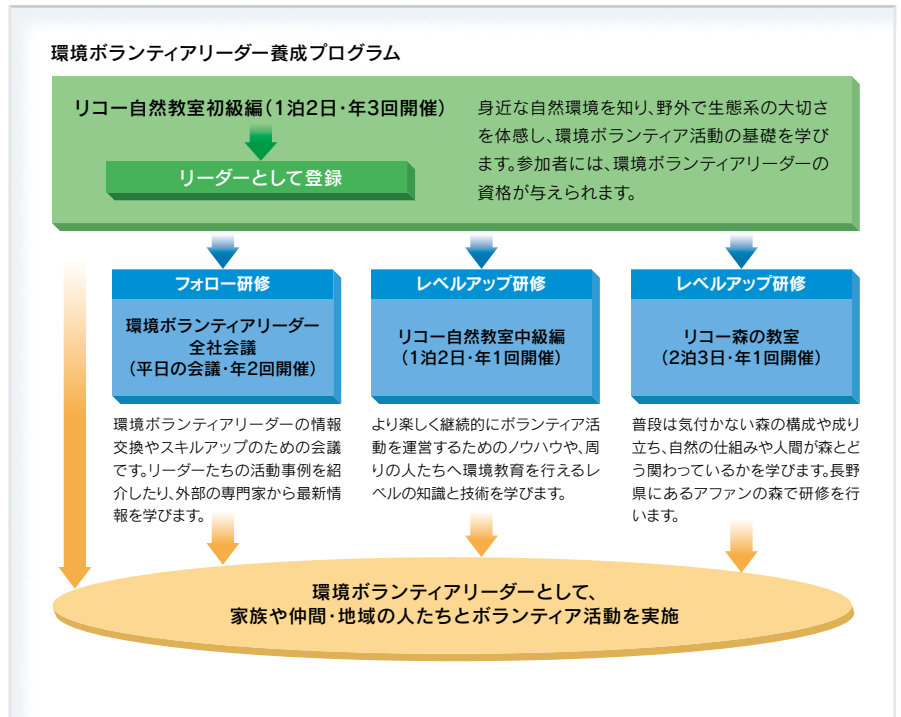
WWF「生命の回廊」
ランドスケープマネージャー
Darrel Webber 様

環境ボランティア活動の推進

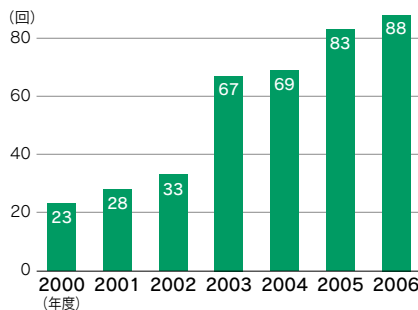
環境ボランティアリーダー養成プログラム

《リコーグループ/日本》

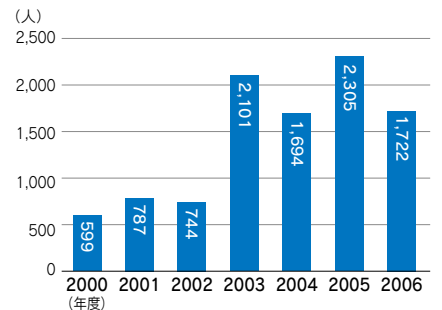
地球環境を保全するには、社員一人ひとりが地球市民としての意識をもって、自主的に社内外で活動を実践することが重要です。リコーは1999年6月から、社員研修の一環として「環境ボランティアリーダー養成プログラム」をスタートさせ、2001年度にはリコーグループ社員および退職者を含むプログラムへと拡大しました。2006年度末までに、379名の環境ボランティアリーダーを養成しました。リーダーには役員も含まれていません。プログラムは、「自然教室初級編」「自然教室中級編」「森の教室」と「環境ボランティアリーダー全社会議」から構成されており、研修後の活動のフォローも行います。自然教室初級編を受けた後、各リーダーは、それぞれの所属する部署や地域を巻き込んで、環境ボランティア活動を展開しています。



環境ボランティアリーダー主催の活動の回数



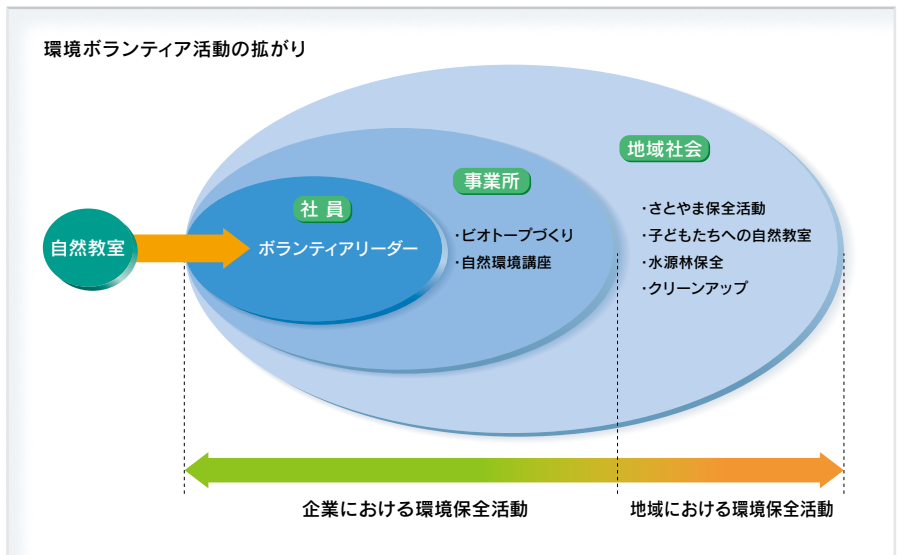
環境ボランティアリーダー主催の活動への参加人数



環境ボランティア活動の拡がり

《リコーグループ/日本》

環境ボランティアリーダーの活動は、社員や家族・友人との活動から、地元の子どもたちや地域社会を巻き込んだ活動へと拡がりを見せています。ボランティア活動を実施する事業所も、生産拠点から全国の販売会社へと拡大しています。



環境ボランティアリーダーの活動

震生湖畔雑木林の保全活動

4月8日、リコー環境ボランティアグループ「秦野雑木林を守る会」のメンバーと家族の計16名が参加して、神奈川県秦野市郊外にある震生湖畔の雑木林にて保全活動を行いました。雑木林の落ち葉掻きを実施して、ウッドチップづくりに挑戦しました。



獅子ヶ谷緑地保全活動

11月4日、リコー環境ボランティアグループ「獅子ヶ谷緑地保全会」メンバーと家族の計11名が参加して、横浜市の獅子ヶ谷緑地で、昆虫マンション整備や下草刈り、関東タンポが保護柵の修理などの保全活動を行いました。



丹沢・春嶽の森保全活動

6月17日、リコー環境ボランティアグループ「リコーやどりき森睦会」のメンバー12名が、神奈川県秦野市の丹沢・春嶽の森で森林保全活動を行いました。下草刈りの後、3メートルほどに育った10年生のケヤキ5本を移植。今後は針葉樹と広葉樹の混交林づくりを進めていく予定です。



名取川河川敷のクリーンアップ

6月21日、リコー環境ボランティアリーダーとリコー研究開発本部東北研究所の社員計23名が参加して、名取川河川敷の熊野堂神社裏手から下流一帯のクリーンアップを行いました。リコーグローバルエコアクション*当日に開催したこともあり、雨の後にも関わらず参加者が多数集まりました。 [*:9ページ](#)



村瀬の森整備

9月24日、神奈川県横浜市の村瀬の森で行われた「竹林の整備活動」にリコーグループ社員8名が参加しました。地域住民の方々と一緒に下草刈りや竹の伐採作業の後、伐採竹を使った流しうめん、バウムクーヘンづくりを楽しみました。



秦野農地リフレッシュ活動

9月16日、リコーグループ社員とOBの計9名が秦野事業所近隣の農地リフレッシュ活動を行いました。これは、使用されていない農地を蘇らせるために秦野市が企業に呼びかけを行い、それに応えたもの。当日は好天に恵まれ、大根の作付けが順調に進みました。トマトやおくら、スイカなどがたくさん獲れました。



国内活動事例

茨城県日立市「小木津山自然公園」
《リコープリンティングシステムズ
多賀事業所》

1月28日、「いばらき森林クラブ」主催の「小木津山自然公園」の森林生態系保全活動にリコーグループの社員および家族の計13名が参加し、樹木除伐を行いました。5名1組のチームに分かれて、チェーンソーを使った伐採作業をこなしました。


福井県坂井市「三国サンセットビーチ」
クリーンアップ
《リコー福井事業所》

9月2日、「福井市環境パートナーシップ会議」「生活共同組合連合会」主催の「三国サンセットビーチ清掃」に、リコー福井事業所および関連会社の社員と家族の計34名が参加しました。参加者総勢120名が2時間程の作業を行い、見違えるほど砂浜がきれいになりました。


静岡県「富士山緑の募金の森」
《リコーリースほか》

9月2日、(社)国土緑化推進機構が主催した「富士山緑の募金の森」ボランティアにリコーリースとリコーグループ社員計92名が参加。富士山麓の国有林は、1996年の台風で大きな被害を受け、2000年から「富士山緑の募金の森造成事業」により森林回復を行っています。リコーリースは、社会貢献型株主優待制度を通じて寄付をしており、今回の活動もこれに関連して行われました。


北海道「樽前山麓森林保全活動」
《北海道リコー、リコーテクノシステムズ、
リコーリース》

北海道リコーグループは、2004年9月の台風18号により被害が発生した樽前山麓の国有林における「森林再生のための森林づくり」活動に2006年度から5年間にわたり、協力企業として参加することになりました。第1回目の6月3日は、社員計40名が参加し、エゾヤマザクラなど約200本の苗木を植林。リコー桜通りとして成長を見守っていきます。


千葉市「リコー千葉ふれあいの森」
《リコー販売、リコーテクノシステムズ、
NBSリコー、リコー》

2月16日、リコーグループ社員および家族の計16名が千葉市での森林保全活動を実施しました。毎月行っているこの活動は今回で25回目。曲がった杉や立ち枯れしている杉を10本ほど伐採しました。できたスペースには、コナラなどの広葉樹を植林する予定です。


徳島県「県立森林公園展望所」
《四国リコー、リコーテクノシステムズ》

10月7日、リコーグループ社員35名が、県の関係者に指導を受けながら県立森林公園展望所周辺の不要な雑木の伐採を実施しました。当日は好天に恵まれ、参加者一同、心地よい汗をかきました。



国内販売会社の森林保全活動マップ

北海道

- ・茨戸川市民植樹祭 (北海道リコー)
- ・樽前山森林再生ボランティア活動 (北海道リコー)
- ・藻岩山清掃登山 (北海道リコー)
- ・旭山記念公園の森林清掃活動 (北海道リコー)
- ・室蘭市民植樹祭 (北海道リコー)

青森県

- ・屏風山山火事再生記念植樹 (青森リコー)

秋田県

- ・西由利原植樹ボランティア (秋田リコー)
- ・白神山植樹ボランティア (秋田リコー)

岩手県

- ・安比高原大清掃作戦 (岩手リコー)
- ・第35回盛岡市民植樹祭 (岩手リコー)

山形県

- ・山形市植樹祭 (山形リコー)

宮城県

- ・蔵王の植林祭 (リコー東北)

福島県

- ・うつくしま育樹祭 (福島リコー)
- ・博士山植樹祭 (福島リコー)

群馬県

- ・嶺公園の植林活動 (群馬リコー)

栃木県

- ・第44回栃木県植樹祭 (栃木リコー)

茨城県

- ・茨城県水郷県民の森保全 (茨城リコー)

埼玉県

- ・東松山市民の森保全活動 (リコー販売)
- ・観音山雑木林保全活動 (リコー販売)
- ・狭山丘陵保全活動 (リコー販売、リコーテクノシステムズ)
- ・市の川・車塚の会 (リコー販売)
- ・東松山市大谷雑木林保全活動 (リコー販売、リコーテクノシステムズ、リコーエンジニアリング)

千葉県

- ・千葉ふれあいの森保全 (リコー販売、リコーテクノシステムズ、NBSリコー)

東京都

- ・南平丘陵公園森林保全活動 (リコー販売)

神奈川県

- ・秦野市震生湖畔雑木林保全 (リコー販売)
- ・獅子ヶ谷緑地保全 (リコー販売、リコーテクノシステムズ)

石川県

- ・大吞地区グリーンツーリズム推進協議会ボランティア (石川リコー)

岐阜県

- ・NPOシテコブシ保存会 (岐阜リコー)
- ・谷口寸洞の山林保全活動 (岐阜リコー)
- ・ホテルの保護育成 (岐阜リコー)

愛知県

- ・なごや平和公園里山愛護会 (リコー中部)

滋賀県

- ・金勝寺ふれあいの森保全 (滋賀リコー)

三重県

- ・第34回鈴鹿山系清掃登山 (三重リコー)
- ・加佐登神社鎮守の森保全 (三重リコー、リコー中部)

鳥取県

- ・第52回鳥取県植樹祭 (鳥取リコー)
- ・県民森づくり推進 (鳥取リコー)

岡山県

- ・倉敷美しい森保全 (岡山リコー)

島根県

- ・広瀬町の植林活動 (島根リコー)

大分県

- ・湯ノ見岳の保全活動 (大分リコー)

佐賀県

- ・さが22流域育樹祭in脊振村 (佐賀リコー)
- ・22世紀アジアの森づくり (佐賀リコー)

長崎県

- ・雲仙・普賢の森植林ボランティア (長崎リコー)

宮崎県

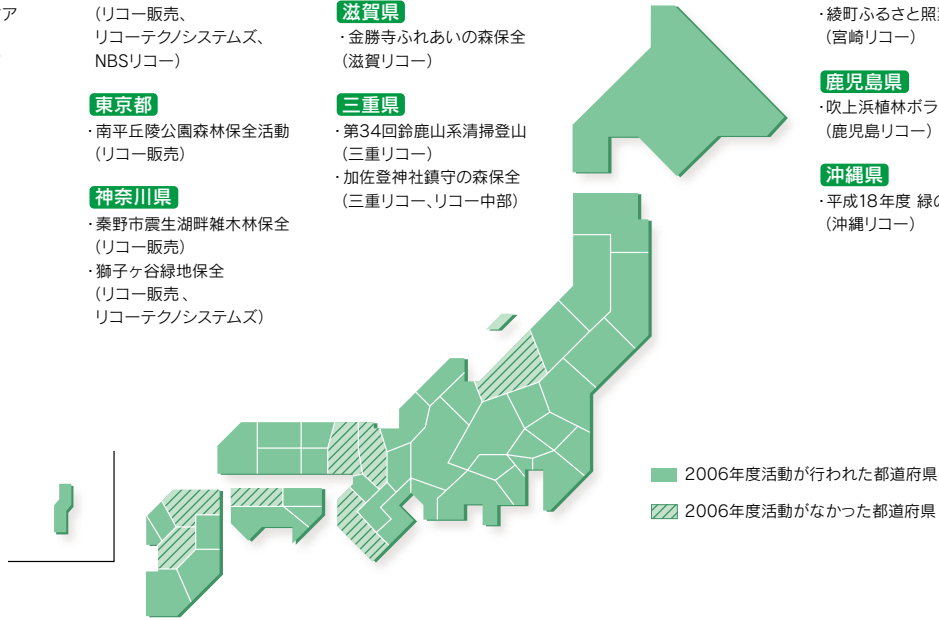
- ・「水と緑の森林づくり」県民の集い (宮崎リコー)
- ・綾町ふるさと照葉樹の森づくり (宮崎リコー)

鹿児島県

- ・吹上浜植林ボランティア (鹿児島リコー)

沖縄県

- ・平成18年度 緑の育樹祭 (沖縄リコー)



山梨県

- ・富士山クリーン作戦 (山梨リコー)

静岡県

- ・ちゃっぴり会奉仕活動 (静岡リコー)
- ・富士山緑化活動 (リコー販売)

奈良県

- ・「野鳥の森」植林祭 (奈良リコー)

広島県

- ・権現山憩いの森ボランティア (リコー中国)

福井県

- ・中池見湿地の保全 (福井リコー)
- ・城山整備 (福井リコー)

山口県

- ・水源の森づくり (山口リコー)

長野県

- ・アフアンの森保全 (長野リコー、新潟リコー)
- ・ながの市民の森保全 (長野リコー)

大阪府

- ・池田グリーンエコー節句山保全活動 (リコー関西)

徳島県

- ・神山町町有林保全 (四国リコー)

香川県

- ・香川ふれあいの森保全 (四国リコー)

富山県

- ・第7回とやまもりの祭典 (富山リコー)
- ・きのみ森活動 (富山リコー)

高知県

- ・高知市「市民の森記念ふれあいの集い」 (四国リコー)

海外活動事例

生物多様性回復のための植林活動

《リコーディストリビューションセンター／ウルグアイ》

ウルグアイの物流拠点リコーディストリビューションセンター（RDC）では、社員と家族が参加する継続的な森林生態系保全活動に取り組んでいます。2003年度から社会貢献活動を行っていましたが、2005年度からは生物多様性の回復に向けた植林に焦点を絞り、4月に'Salto del Penitente 公園、2006年3月には Humedales del Santa Lucia 公園で植林活動を行いました。さらに、2006年12月には、ウルグアイ科学大学による「ウルグアイ固有の森回復プロジェクト」に協力しました。いずれの活動も、植物、爬虫類、両生類、哺乳類、鳥などの生物多様性に富んだウルグアイ固有の生態系回復を目的としたもので、美しい自然の景観を取り戻すことで、より多くの人



訪れることを期待しています。これらの活動にのべ180名のRDC社員と家族が参加し、150本の植林を行いました。植林を終えた場所には、リコーの生態系保

全への取り組みを紹介した小さなメッセージボードを添えています。

環境啓発と植林活動

《リコーコスタリカ／コスタリカ》

コスタリカの販売会社リコーコスタリカは2006年8月、地元の子もたちへの環境啓発を目的に、生態系に配慮した植林活動を実施しました。社員とその家族16名と、児童やその家族、学校関係者59名が参加し、サンカルロスに2ヘクタールの土地に400本の植林を行いました。



水源林回復のための植林活動

《リコーフィリピン／フィリピン》

フィリピンの販売会社リコーフィリピンは2005年以来、マニラ市の水源林であるラメーサ地域の植林活動を支援してきました。2006年11月には、21名の社員が植林活動に参加し、NGOや他の企業の社員88名とともに、植林のための土壌固めと315本の植林を行いました。ラメーサは、マニラ市内に残っている唯一の広大な森林地帯です。かつては2,700ヘクタールにわたって広がっていました

が、1999年にはその45%が失われました。現在は300ヘクタールの再植林が完了し、今後さらに900ヘクタールの再植林を実施する予定です。



TOPIC

環境保全の環を拡げる、お客様と一体となった活動

お客様が自由に参加できる環境保全イベントを開催し、参加を呼びかけています。

《リコータイランド/タイ》

タイの販売会社リコータイランド(RTH)は、2006年3月18～19日、ナコーンラチャシマー県で植林活動を行いました。この活動には、RTHの社長と社員28名のほか、お客様36社・73名にも参加いただきました。RTHでは、お客様が自由に参加できる環境保全イベントを企画・開催し、お客様とのより良い関係づくりに活用しています。

当日は、営林局の職員とともに約4,500本の植林を行ったほか、乳牛の搾乳や乗馬などの農場生活体験や、料理教室などのイベントを楽しみました。参加したお客様からは「次回の活動にも参加したい」など、高い評価をいただきました。RTHは、このような活動を通じて、環境保全の環が拡がることを期待しています。今回の植林活動を、継続的な環境保全活動へつなげるために、お客様とともに「グリーンクラブ」を設立する予定です。



料理教室

マングローブ林再生と環境啓発

《リコーマレーシア/マレーシア》

マレーシアの販売会社リコーマレーシアは2006年6月、津波や台風などの自然災害に見舞われた地域復興の一環として、生物多様性の豊かなタイピン・クアラグラの湿地帯でマングローブ林の再生活動を行いました。リコーマレーシアの社員約100名のほか、環境関連の省庁、NPO、学生を含む地域社会の

方々約100名が参加して約2,000本の苗木を植林し、マングローブ林の生態系の重要性について啓発活動も行いました。

